

**【電気電子科】 電気電子実習 学習指導案**

岩手県立宮古工業高等学校 2学年(男 10 女 1 計 11人)  
平成28年10月11日(火) 4校時(1時間), 場所 教室, 指導者名 山田 甲二

1. 単元 (題材)	電気工事实習								
2. 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気工事の現場作業にて行われる施工方法に関心を持ち、意欲的に取り組める。【関】</li> <li>・ケーブル工事や管工事などの施工方法について理解できる。【思】</li> <li>・条件に応じて、施工方法を適切に判断しながら作業ができる。【技】</li> <li>・各種の施工方法を知っている。【知】</li> </ul>								
3. 評価 規準	学習内容	時間	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法	
	a 関	b 思	c 技	d 知					
	作業概要と 手順の確認	1	○					a : 電気工事現場で行われる 作業内容に関心を持っている。	・行動観察
	電気工事作 業実技	4			○	○		c : 作業箇所や状況に応じて、 適切に施工することができる。 d : 各種の施工方法を知って いる。	・行動観察
	振り返りと 作業考察 (本時)	1		○		○		b : 状況に応じた適切な施工 方法が判断でき、それを表現 することができる。 d : メタルラス壁に対して適 切に電線を貫通させる方法が 分かる。	・行動観察 ・問題演習
※評価の観点の記号等は、「a : 関心・意欲・態度」, 「b : 思考・判断・表現」, 「c : 技能」, 「d : 知識・理解」である。									

4. 本時	(1) 本時の目標			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じた施工条件を適切に判断し、考えをまとめることができる【思】</li> <li>・メタルラス壁に対して適切に電線を貫通させる方法が分かる。【知】</li> </ul>			
	(2) 展開			
	学習内容・学習活動	時間	指導上の留意点と支援 ・評価【観点】と方法	資料、教材・教具
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標を確認する。</li> <li>・学習プリントの配布（電気工事作業現場での対応について）</li> </ul>	導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気工事現場で、予期しない対応を求められた場合を、例題を示して考えさせる。（例題は別紙）</li> </ul>	学習プリント
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人で考える。</li> <li>・3～4人のグループ（計3グループ）で、それぞれ話し合う。</li> <li>・話し合いが終わった各班に適切な順を示す番号カードを黒板に貼る。</li> <li>・各班にその順番になった理由を発表する。</li> </ul>	展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えがまとまらない生徒がいる場合には、一番適切なものを1つ決めて、それを基準に順番を決めるように指示する。</li> <li>・自分の意見を班員に伝え合い、班としての統一した意見をまとめる用に指示する。</li> <li>・各班の意見を発表させる。 &lt;評価方法&gt;</li> <li>・堅ろうな防護管で電線を覆う事を前提に、考えを整理しているか。</li> <li>・穴を開けた壁の後処理まで考えて、意見を整理しているか。</li> <li>・各班の意見を聞いて感じたことを発表するように指示する。</li> </ul>	・学習プリント
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のまとめ</li> <li>・解答例から考えをまとめる。</li> </ul>	まとめ (終末) 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業者側で準備した解答例を提示し、気付きを学習プリントに記入させる。</li> </ul>	・学習プリント
	(3) 評価			
	本時の評価規準(B)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堅ろうな絶縁管に納めて電線を貫通させる工程を知っている。</li> <li>・状況に応じた判断方法について、自身の考えを整理することができる。</li> </ul>		
	十分満足できると判断される生徒の姿(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気設備の技術基準に従い、堅ろうな絶縁管に納めて電通を貫通させる工程を選ぶ状況と判断することができる。</li> <li>・自分自身の考え方を整理し、グループでの意見をとりまとめた上で考えを発表することができる。</li> </ul>		
努力を要する状況(C) 支援が必要とされる生徒への支援方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な作業工程を把握していない。</li> <li>・自分自身の考え方を適切に整理し表現することができない。</li> </ul>			
その他				